

# 【トランプ用】として使用するデータの製作方法

フォトランプの製作には合計 55 データが必要となります（仕上がりは 54 枚）。

- おもて面 1 データ
- ハート・ダイヤ・スペード・クローバー 各 13 データ
- ジョーカー 2 データ（赤文字と黒文字の 2 種類があります。各 1 データずつ製作して下さい。）

テンプレートのデータも 55 種類ございますので、各データ専用のテンプレートをご使用下さい。

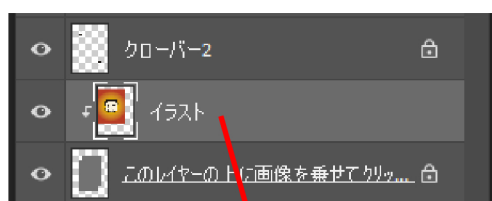
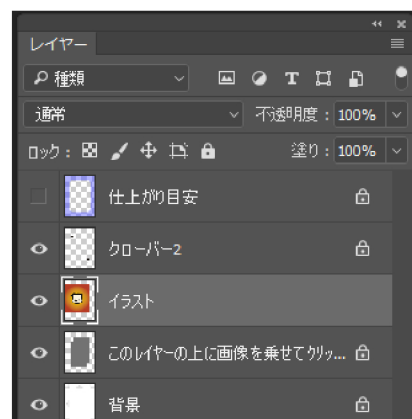
テンプレートのファイル名は以下のようになっています。（※すべて半角英数）  
変更されると製作できなくなりますのでご注意下さい。

- おもて面 F
- ハート HA H2 H3 H4 H5 H6 H7 H8 H9 H10 HJ HQ HK
- ダイヤ DA D2 D3 D4 D5 D6 D7 D8 D9 D10 DJ DQ DK
- スペード SA S2 S3 S4 S5 S6 S7 S8 S9 S10 SJ SQ SK
- クローバー CA C2 C3 C4 C5 C6 C7 C8 C9 C10 CJ CQ CK
- ジョーカー J1 J2

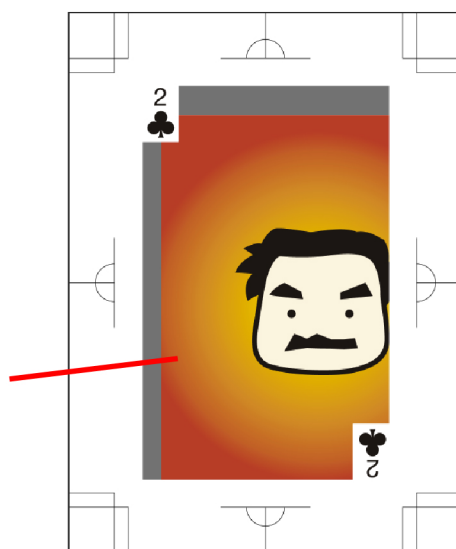
## ■データの作り方（うら面）

Photoshop でテンプレートのデータを開くと、「このレイヤーの上に……」という名前のレイヤーがあります。  
このレイヤーの一つ上に、うら面に使用する写真やイラストなどの画像レイヤーを作成します。

作成した画像レイヤーが選択されている状態で、「レイヤー」メニューの「クリッピングマスクを作成」を実行します。  
「このレイヤーの上に……」のレイヤーと重なった部分だけが表示された状態になります。



クリッピングマスクを作成すると「このレイヤーの上に……」と重なった部分だけが表示される  
レイヤーパネルでは画像のレイヤーが右にずれた状態で表示される



移動ツールで表示される部分を調整したり、「編集」メニューの「自由変形」で画像の大きさを調整したりします。（※「このレイヤーの上に……」のグレーが見えなくなるように調整して下さい。）

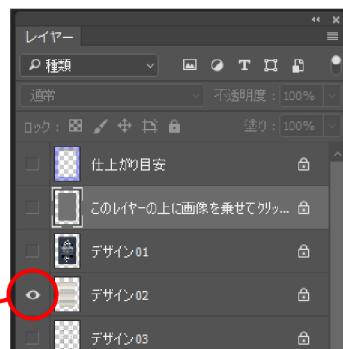
データが整ったらファイルを保存します。

## ■データの作り方（おもて面）

### 【あらかじめ用意されたデザインを使用する場合】

「F」というテンプレートファイルを開き、レイヤーパネルで「デザイン 01」～「デザイン 06」の 6 種類のデザインの中から使用したいデザインを表示させ、ファイルを保存します。

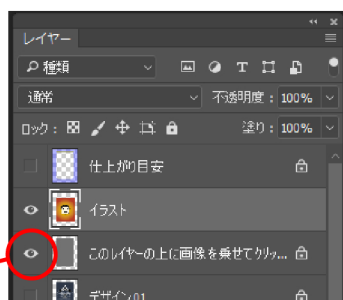
使用したいデザインのレイヤーを表示させ、ファイルを保存する



### 【オリジナルのデザインを作成して使用する場合】

「F」というテンプレートファイルを開き、「このレイヤーの上に……」という名前のレイヤーを表示させます。  
このレイヤーの一つ上に、おもて面に使用するデザインの画像レイヤーを作成します。

「このレイヤーの上に……」を表示させ  
その上に画像を作成する



作成した画像レイヤーが選択されている状態で、「レイヤー」メニューの「クリッピングマスクを作成」を実行します。  
「このレイヤーの上に……」のレイヤーと重なった部分だけが表示された状態になります。  
移動ツールで表示される部分を調整したり、「編集」メニューの「自由変形」で画像の大きさを調整したりします。

※位置や大きさを調整する際は、以下の 2 点にご注意下さい。

#### ■注意その 1

「このレイヤーの上に……」のレイヤーのグレーが見えなくなるように画像の位置・大きさを調整して下さい。  
実際の仕上がりサイズはこのグレーよりも上下左右 3 ミリずつ小さいですが、仕上がりサイズぴったりに画像を作ると断裁でずれが生じた場合にグレー部分が見えてしまう可能性があるため、3 ミリほど大きくする必要があります。  
(各テンプレートには、一番上に「仕上がり目安」という非表示のレイヤーが含まれています。このレイヤーを表示させると、断裁後の仕上がりイメージや、どの位置まで絵柄を配置すればいいのかを確認することができます。)

#### ■注意その 2

仕上がりサイズ内であっても、断裁位置ぎりぎりの位置には顔や文字などの重要な絵柄を置かないで下さい。断裁でずれが生じた場合に、その部分が切れてしまう可能性があります。  
また、仕上がりは角が丸くカットされるので、その位置の絵柄もなくなります。



仕上がりサイズよりも 3 ミリはみ出すように  
画像の位置・大きさを調整する

データが完成したらファイルを保存します。

※必ず別紙「ファイル保存時の注意」をお読み下さい